

2020.05.22

【英国】保健・公的介護省、ワイト島で新型コロナウイルス接触追跡アプリの試験を開始すると発表

保健・公的介護省は、5月4日、英ワイト島で新型コロナウイルス接触追跡アプリの試験を開始することを発表した。コロナウイルスの拡大を最小限に抑え、ロックダウン対策を安全に縮小する方向に進むための政府の次の段階としている。

まずは、NHS 及び地方自治体のスタッフを対象に、5月5日の午後4時から NHS の公式新型コロナウイルス接触追跡アプリのダウンロードが可能となる。ワイト島の全世帯には、5月7日に使用方法の明確な説明が記載されたリーフレットが送られ、アプリのダウンロードが可能となる。

同アプリは NHS のデジタル化を推進する政府と NHS の共同組織である NHSX、世界をリードするサイエンティストと医師のチームによって開発され、コロナウイルスの感染者やその接触者を特定し、ユーザに警告することでウイルスの伝染を減らすことが目的。

コロナウイルスの症状の兆候が出た人物がアプリを通じて症状を報告すると、その人物が過去数日間に濃厚接触をした他のアプリユーザが検出される。アプリはこれらの連絡先に匿名で警告を送り、アドバイスを提供する。また、今後ユーザはアプリを通じてコロナウイルスの検査テストを依頼できるようになる。

また、症状を報告するすべての人は、オンラインサービスを使用して（または、必要に応じて電話インタビューを通して）最近接触のあった人を記録するように求められる。そして、感染者を探す専門家集団である「コンタクト・トレーサー（接触追跡者）」が、アプリ、電子メール電話のいずれかの手段によって、危険にさらされている可能性のあるすべての接触者に対し、警告やアドバイスを行う。

アプリの試験、追跡及び追跡プログラムは5月中旬には英国全土で展開されることが予定されており、イングランド公衆衛生サービス（Public Health England : PHE）は同プログラムをサポートするため、コンタクト・トレーサーを更に1万8,000名雇用すると発表している。

このアプリは、国際的な協力を通して世界中のベストプラクティスを参考として、オーストラリア、ノルウェー、シンガポールなどで採用されている Bluetooth 低エネルギー技術を使用している。英国政府としては、ユーザのデータのプライバシーとセキュリティは優

先事項とし、国家サイバーセキュリティセンター（NCSC）の専門家もアプリ開発に関わっているとしている。収集されたデータは NHS ケア、管理、評価、調査のみに使用され、NHS はデータ保護法を含む法律に完全に遵守していると説明している。

なお、アプリの試験にワイト島が選ばれた理由としては、単一の NHS トラストが島すべての NHS サービスをカバーしていること、人口がかなり多い島としての地理的条件がアプリを初めて展開するのに理想的な場所であったことと説明された。